

## 全国高校かるた個人戦 対馬さん県勢初V



優勝旗を持って報告に訪れた対馬聖玲菜さん(中)と里村英博校長(右)

7月24日、25日、滋賀県大津市近江神宮で開催された第32回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権個人戦A級(四段以上)で県勢として初優勝を飾った対馬聖玲菜さん(木造高校3年)が8月10日、市役所を訪れ、福島市長に優勝を報告しました。

個人戦A級には全国の強豪44人が出場。対馬さんは準決勝で優勝候補の森田真央さん(東京・東大教育附属高1年)と対戦。一進一退の激しい攻防の末、2枚差で競り勝ちました。決勝では新井美奈さん(群馬・前橋女子高2年)を14枚差で破り見事頂点に立ちました。

報告を受けた福島市長は、「歴代のかるたクイーンが勝ってきた大会と聞いた。そのような大会で優勝したとは本当にすごい」と感心していました。対馬さんは「昨年は3位で、今年は絶対優勝旗を持ち帰りたい」と笑顔で語りました。

## 恒久平和願い、戦没者の冥福を祈る

戦死された方々の霊を慰め遺族の辛労をねぎらう「つがる市戦没者追悼・平和祈念式」が8月12日、松の館で行われました。

式典には約200人が参列し、戦没者の御霊に黙とうをささげ、福島市長が「戦争で肉親を失った遺族の労苦に敬意を表し、平和の尊さを深く心に刻み、平和への願いを発信し続けることを誓います」とあいさつ。戦没者遺族会を代表して工藤光則会長が「二度と戦争が起こらないよう戦争の悲惨さや恒久平和の大切さを次の世代へしっかりと受け継ぐことに努めます」と追悼の言葉を述べました。参列者は標柱に飾られた祭壇に白い菊の花を献花し、「童謡 蕾の会」が「白神山地の詩」など3曲を追悼合唱しました。



上/白菊を献花する参列者

右/戦没者の御霊に追悼の言葉を述べる工藤光則会長

## 災害時に備え東北電力と協定締結



協定書に署名する佐井順一所長(左)と福島市長

8月6日、市と東北電力五所川原営業所は、災害発生時における電力復旧活動のための市の施設利用に関する協定を締結しました。協定は、大規模停電の際、迅速な電力復旧活動のため、県内外から駆けつける応援隊の集合場所・物資集積場としてつがる地球村と市生涯学習交流センター「松の館」の各駐車場を、ヘリポートとして地球村の駐車場と木造中学校グラウンドを提供するという内容です。

福島市長は「協定の締結によって災害時の情報の共有や相互の連携をさらに強化できると思います」と述べ、同営業所の佐井順一所長は「これを契機になお一層緊密で強固な関係をつくっていききたい」と話しました。県内で同様の協定を締結したのは本市が20例目となります。

## つがる相撲クラブが小学校団体2年連続優勝

県内の小中学生ら約160人が参加した第6回旭富士杯県下小学校・中学校相撲大会が8月8日、つがる地球村スポーツパーク相撲場で開催されました。選手たちは団体、個人戦で日頃鍛えた力と技をぶつけ合い、手に汗握る熱戦を繰り広げました。主な結果は次のとおりです。(敬称略)

- 小学校団体 優勝：つがる相撲クラブA 3位：つがる相撲クラブB
- 小学校個人◇2年 2位：鳴海匠馬(つがるクラブ) 3位：木村豪斗(森田小) 3位：相馬良亮(つがるクラブ)
- ◇3年 優勝：小関拓道(つがるクラブ) ◇4年 2位：菊池新(つがるクラブ)
- ◇5年 2位：田中界渡(つがるクラブ) ◇6年 優勝：越後谷知樹(つがるクラブ)



小学校団体優勝のつがる相撲クラブA



個人優勝の小関拓道君(3年)



個人優勝の越後谷知樹君(6年)

## 特産メロンなどを関西、関東で試食販売

つがるブランド推進会議(会長・福島弘芳市長)は7月24日から27日までの4日間(東京、千葉、兵庫、名古屋)で、つがる市産のメロン試食販売会を行いました。

販売会では、福島市長はじめ今彰造議長、生産者、津軽まほろば会の会員らがつがる市産のタカミメロン、レノンメロン、小玉スイカなどを試食販売しました。

24日、イトーヨーカドー津田沼店で開かれた「青森県フェア」では三村県知事も県産品のPRに会場。福島市長による市産メロンのPRやつがるちゃんの部位を当てるプレゼントクイズなども行われ、「つがる市」「つがるブランド」の魅力を県外の方々に発信しました。



西宮市のスーパーでメロンの試食販売を行う生産者の工藤十三雄さん



モーゼス・マイケル(MICHAEL MOSES F)  
米国ネブラスカ州出身 23歳  
【つがる市役所財政部企画課所属】

## 「つがる市の皆様、よろしくお願いします」

### 国際交流員 モーゼス・マイケルさん着任

「Hi!」つがる市の皆様、はじめまして。モーゼス・マイケルと申します。「マイク」と呼んでください。これから国際交流員としてつがる市で働くことになりました。

ネブラスカ州のオマハ市出身です。ネブラスカ州はアメリカの真ん中にありまして、コーンとフットボールが有名です。オマハ市の人口は約43万人です。ネブラスカは海から離れていて新鮮な魚はありませんので、青森県の魚を食べるのを楽しみにしております。

ネブラスカ大学でスペイン語と民族学を専攻していました。趣味はいろいろあります。まず旅行です。メキシコ、ドミニカ、スペイン、韓国に行ったことがあります。他の趣味は映画を見ること、本を読むこと、テニスをする事です。そして、つがる市にいううちに青森の豊かな自然や日本の文化と関係のある趣味を始めたいと思っています。

皆様と文化や言語の交流をするのを楽しみにしています。もし国際交流員としてのご希望があれば、ご遠慮なく声をかけてください。それでは「Nice to meet you!」よろしくお願いいたします。



### 松橋ミヤさん長寿100歳おめでとう

松橋ミヤさん（富港町）が7月24日、めでたく満100歳を迎えられ、入所しているゆうあいの里で長寿を祝いました。ミヤさんは明治43年生まれで夫の吉郎さんとは死別したものの、3人の子どもと孫3人、ひ孫5人、玄孫1人に恵まれました。裁縫が得意で、手先の器用なミヤさんは、色紙で彼岸花を作り、売りに歩いたりしたそうです。

この日、ゆうあいの里を訪れた小林福祉部次長は、顕彰状と花束を贈呈し「健康に気をつけて、101歳、102歳と長生きしてください」とお祝いの言葉を述べました。ミヤさんは「みなさま、おかげさまでありがとうございます」と笑顔を見せました。

### しげた保育園児が交通安全呼びかけ

「夏の交通安全県民運動」の一環として7月23日、しげた保育園の園児40人がつがる警察署と交通安全協会稲垣支部と合同で交通安全路上指導を行いました。

園児たちは元気な声で「運転ごろうさま。安全運転をお願いします」と手作りのマスコット人形とチラシをドライバーに手渡し、交通事故防止を呼びかけていました。ドライバーは「ありがとう」と笑顔でお礼を言っていました。



### 県民体育大会「市の部」家庭婦人バレーボール優勝

第65回市町村対抗青森県民体育大会が7月31日、8月1日の2日間、五所川原市、つがる市などを会場に開催され、「市の部」家庭婦人バレーボールで本市が2年ぶりに優勝を果たしました。

稲垣体育館で行われた決勝は弘前市との息詰まる攻防を制し、見事栄冠に輝きました。西谷須磨子監督は「チームが一丸となってつかんだ勝利。地元で優勝できてとても嬉しい」と話していました。

### おまけ付き商品券発売

つがる市商工会は8月4日、1割お得な共通商品券を市内5カ所で販売しました。商品券は、1,000円券11枚綴りを10,000円で販売し市内189店舗で使用できるものです。お得な商品券を買い求めようと、多くの市民が発売を前に商工会館に訪れていました。

発売セレモニーでは福島市長が「10%のおまけ付き商品券を有効活用して、つがる市の活性化に役立てて欲しい」とあいさつしました。



## 地元産食材を使った親子料理教室

地産地消と食の大切さを学んでもらおうと8月2日、市食育推進応援隊（原田ひとみ代表）が親子料理教室を松の館で開催しました。

同教室には10組約30人の親子連れが参加し、市食生活改善推進委員会の指導のもと、つがるブランド農産物のコメやトマト、ナガイモなどを使って、米粉ピザやミモザサラダ、ナガイモのスープを作りました。参加した親子は協力しながら食材を調理。完成後、皆で料理を試食し、地元食材の新たな美味しさを発見していました。



## 縄文人に思いをはせて

8月16日、「JOMON亀ヶ岡遺跡まつり2010」がしゃこちゃん広場で行われ、約1,000人の市民らが参加し、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」世界文化遺産登録への機運を高めました。主催したNPO法人つがる縄文の会の野呂隆昌代表は「亀ヶ岡遺跡はその芸術性の高さが評価され、亀ヶ岡文化という言葉は永久に残っていくと思います」とあいさつ。市教育委員会の佐野忠史学芸員が遺跡の発掘状況を報告しました。

縄文荒吐会、きづくりこどもネブタ愛好会による演奏や津軽人形芝居やよさこいソーランなどが行われた後、千代町町内会の縄文ネブタ「亀ヶ岡縄文人、鯨と闘う」が木造亀ヶ岡地区を威勢よく練り歩きました。

## 願いを込めて灯ろう流し

水虎大明神がまつられている木造千年のほこらで7月20日、宵宮が行われました。数十年前から続いている伝統の“灯ろう流し”は、家内安全、無病息災、水難防止などと書かれたたくさんの灯ろうがゆっくりと古田川の水路に流され幻想的な雰囲気に包まれていました。また、かっぱ広場周辺には多くの露店が軒を連ね、市民らは宵宮という夏の風物詩を楽しんでいました。



## フラット10周年を祝い夏まつり

むらおこし拠点館フラット開館10周年を記念して8月8日、むらおこし拠点館活性化推進協議会（蝦名富治会長）が「フラット10周年記念夏まつり」を開催し、多数の市民で賑わいました。

会場では、りんご娘&アルプス乙女ステージや蒼天飛龍、JA女性部によるよさこいソーランの披露が行われ、観客も一緒に踊りに参加し、大いに盛り上がりしました。また、ビンゴゲームや生バンド演奏、盆踊りなどさまざまなイベントが行われ、訪れた親子連れらは納涼を楽しみました。